

# 衆議院総務委員会ニュース

平成 20.5.15 第 169 回国会第 19 号

5 月 15 日、第 19 回の委員会が開かれました。

## 1 行政機構及びその運営に関する件（年金記録等）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）年金記録確認中央第三者委員会委員長

元日本弁護士連合会会長

梶谷 剛君

年金記録確認中央第三者委員会委員

東京都社会保険労務士会副会長

小澤 勇君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 井澤京子君（自民）

- ・年金記録確認第三者委員会の判断基準として、証明が難しい場合には一応確からしいという「疎明」をもって判断しているとのことだが、「疎明」とはどのようなものか。また、その判断基準が曖昧だという批判もあることから、行政側に立証（証明）責任を負わせるべきとの意見もあり、梶谷参考人に疎明の説明と併せて、行政側に証明責任を負わせることへの意見を伺いたい。
- ・昨年末に厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律が成立したところであるが、今後、事業主に対してどのような形で（年金記録の訂正に関し）協力を求めるのか。また、今後どのような制度的見直しが必要となるのか小澤参考人に伺いたい。

### 長妻昭君（民主）

- ・年金記録確認第三者委員会の公開・非公開については、各委員会で個別に判断することになっているが、対応のたたき台を作成する際に梶谷（委員長）参考人が非公開とする判断をされたと聞いている。公開とするよう各委員会とともにご判断いただきたいと思うが梶谷参考人の意見を伺いたい。
- ・非あっせん事案3873件のうち、本人からのヒアリングを行わなかった事案が3327件あり、そのうち41.7%の1387件について本人がヒアリングを希望しているにも係わらず委員会の判断でヒアリングを不要としている。ヒアリングを希望する者は、全員実施するように委員の増員を含めて総務省をご指導願いたい梶谷参考人の意見を伺いたい。

### 榊屋敬悟君（公明）

- ・年金記録確認第三者委員会の今後の処理見通しについてどのように見込んでいるのか梶谷参考人に伺いたい。
- ・年金記録確認第三者委員会として年金問題に係る総括を行う予定はあるのか梶谷参考人に伺いたい。

### 塩川鉄也君（共産）

- ・年金記録確認地方第三者委員会の事務局に係る人事の在り方についてどのように考えているのか梶谷参考人に伺いたい。
- ・年金記録確認地方第三者委員会の委員の増員等体制の強化を行い、全ての案件についてヒアリングを実施する必要があるのではないか梶谷参考人に伺いたい。

### 重野安正君（社民）

- ・刑事裁判での原則といわれる、「疑わしきは被告人の利益に」のように、第三者委員会においても「疑わしきは申立人の利益に」という姿勢で審査が行われるべき、という考えに対する梶谷参考人の意見を伺いたい。
- ・都道府県によって、年金記録確認第三者委員会における審査のスピード、基準のばらつきがあるという認識があるのか、認識があったら、そのばらつきをどのように改善しようとしているのか梶谷参考人に伺いたい。